

事業所名

ステップハート

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

7 日

| | | | | | | | | |
|-----------|-------------|--|------|--------|---------|--------|---|----|
| 法人（事業所）理念 | | ◎お子様の次の一步（ステップ）を踏み出す心（ハート）を育む 次の一步を踏み出すということは誰にとっても不安なものです。それでも自ら踏み出すには自己肯定感が必要だと我々は考えます。 | | | | | | |
| 支援方針 | | <p>●また明日も行きたいくなる場所づくり すべての活動の基盤となるステップハートという「場所」それはお子様にとって楽しく、わくわくする場所、そして安心できる場所であることが最も重要だと考えます。そのためにお子様自分らしく、安全に過ごせるような環境・設備を提供します。また、お子様の「わからない」「伝わらない」という不安が少なくなるように、スタッフはお子様に寄り添いながら、わかりやすい表現で丁寧に対応します。お子様だけでなくご家族にとっても、相談できる場所・頼りになる場所となるように、学校・ご家族との面談などを通して、連携を取りながらお子様を見守っていきます。</p> <p>●「できる」を増やす 放課後という時間は、おうちに帰るまでの限られた時間です。学校を終えたお子様にとっては疲れている時間帯でもあり、目的をもって、できることは少ないかもしれませんが。それでも、あいさつなど日常生活に欠かせない動作から、調理や工作など技術が必要な作業まで、お子様のいろいろな「できた」を積み重ね、自分で自信をもって行動できるように支援します。宿題もただ終わらせるのではなく、どのようにスケジュールを立てるか、時間を使うかなど、内容そのものよりも取り組み方を重視し、お子様が自分一人で勉強に取り組めるように支援します。お子様によっては当然苦手なこともあると思いますが、お子様の特徴を見極め、専門的な視点からスタッフ同士で工夫をし、そのお子様にとって最善の方法で支援します。</p> <p>●「やりたい」を実現する 大人になって「やったことがない」「やらせてもらえなかった」ということが多いことは、とても悲しいことです。ステップハートでは生きていくうえで必要な経験はもちろん、学校がお休みになる期間はステップハートならではのイベント・行事を行うことで、学校やご家庭では体験できないような経験を提供し、「できる」から生まれる「やってみたい」という積極性を引き出したいと考えています。</p> <p>◎「ステップハートでやったこと」が、その後の人生で一步踏み出すきっかけになればと願っています。</p> | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 | 10 時 | 45 分から | 19 時 | 45 分まで | 送迎実施の有無 | あり |
| | | 学校休業日 | 8 時 | 30 分から | 17 時 | 30 分まで | | |
| | | 支 援 内 容 | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 睡眠・食事・排泄の評価。生活リズム安定のための活動量の調整とご本人への助言。健康・怪我予防・体づくりのための運動活動・ストレッチ・トレーニング。咀嚼の状態による食形態の調整。偏食対応。調理活動。手指運動機能のより食事用具・自助具の提案と練習。トイレトレーニング。衣服の調節、室温の調節や換気、病気の予防や安全への配慮 | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 理学療法士・作業療法士を中心とした評価と支援…体力テスト、筋力トレーニング、水中運動、バランストレーニング、ダンスエクササイズ、段昇降練習、歩行練習、走り練習、靴の評価、姿勢保持、運動企画、筆記の操作練習、日常生活動作練習、ピラティス体験、体育館活動、公園でのサッカー・遊具遊び・鬼ごっこ等。視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を評価し、特性に配慮し環境調整および発達を促す活動。バランス・回転、手指巧緻運動…着つまみ競争、フタ開閉競争、折り紙、季節の制作活動、書字活動。協調運動…風船バレー、輪投げ、縄跳び等 | | | | | | |
| | 認知・行動 | 形、色、音に変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図る。ビジョントレーニング、記憶ゲーム、色分けゲーム、カードゲーム、カルタ、手探りで形当てクイズなど。感覚や認知の偏りからくる特性に配慮した適応的な行動への支援。 | | | | | | |
| | 言語コミュニケーション | 言語評価、口形模倣・音声模倣による発音練習、音声と実物と文字のマッチング練習、音読、読み聞かせ、連想ゲーム、しりとり、なぞなぞ、文章での説明・発表活動。自由場面で相手に気持ちを伝える、相手の話を聞く、意思を疎通させるサポート。指差し・ジェスチャー・サイン・表情等を使った、非言語的コミュニケーションでのやりとりの練習。実物・写真・イラスト・文字等を利用した視覚的支援によるやりとりの練習。 | | | | | | |
| | 人間関係社会性 | 安心・安全への支援。相談にのる。利用児童企画の活動、公共機関の利用（電車）、買い物活動、設定された全体活動全般（順番・交替・話し合い・切り替え・準備・片付け・注目場面での発言・協力・応援・我慢・折り合い・譲歩・寛容・謝罪・ルールを守る・マナーなど）、自由遊び全般（全体活動での取り組みを生活場面で自力で発揮できるか）、清掃活動 | | | | | | |
| 家族支援 | | 事業所における面談、家庭訪問による面談、家族会による交流 送迎時に情報伝達・相談 家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援 | | | 移行支援 | | 学校と情報共有をして、ステップハートでの取り組みを学校生活に生かしていただく。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 併用放課後等デイサービスへの訪問と連携。医療機関・リハビリ・視覚障害支援センター・児童相談所等との連携、 | | | 職員の質の向上 | | 内部研修：支援方法や障害理解等、テーマを決めて研修実施 外部研修：しろがね学園さんや、たんぼぼ学園さん主催の研修会に参加 | |
| 主な行事等 | | みなかみ遠足（上牧温泉辰巳館、たくみの里クラフト体験、道の駅川場田園プラザ、湯檜會公園で川遊び、水紀行館ほか）、ほか遠足（小平親水公園で川遊び、富岡自然史博物館、めんたいパーク、中之条ガーデンズ、赤城自然園など）、家族会、夏祭り、クリスマス会、新米を食べる会、初詣、お餅を食べる会、お花見昼食、卒業・進級式、流しそうめん大会、バーベキュー大会、SWITCHゲーム大会、外出（地域の様々な公園、プール、ボウリング場、イチゴ狩り、前橋七夕祭り、前橋祭り、華蔵寺遊園地、るなぱあく、プラネタリウムなど） | | | | | | |